



道腎協 第2101号  
令和3年8月30日

当別町長 後藤 正洋 様

北海道腎臓病患者連絡協議会  
会 長 松 永 輝 一  
札幌市北区北17条西2丁目2-38  
サザンアベニュー北大101  
TEL・FAX 011-747-0217

## 新型コロナウイルス感染防止に関する要望書

日頃より、腎臓病・透析の患者会である当会の活動にご理解ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、北海道における透析患者の新型コロナウイルス感染については、日本透析医学会・日本透析医学会・日本腎臓学会による新型コロナウイルス感染症対策合同委員会に登録された2021年8月19日16時時点での累積感染者は171名、累積死者は76名（P5①参照）です。死亡率は44.4%（P5②参照）と高く、国内16.6%、累積感染者数が道内と近い161名の福岡県は18.0%、222名の大阪は12.2%なので道内の高い死亡率については何らかの対応が必要と思います。改めて、透析医療施設における感染対策状況の確認と対策の徹底並びに新型コロナ感染透析患者の入院調整や治療態勢に問題はなかったのか検証して頂き、道内1万6千人強の透析患者の命を新型コロナウイルスから守る対応をお願いします。

札幌市では、市内18の透析医療施設で118名の透析患者の感染者と63名の死亡者の発生を受け透析患者優先病床20床の確保を市長が表明（7/17）した。新型コロナ感染透析患者の自宅待機（療養）は、現状の新型コロナ自宅療養の支援実態を見るに実質外来維持透析の継続は不可能であり、尿毒症での死を意味します。

以下は要望事項（P1、2）と要望書提出の背景（P3～5）です。

誠に恐縮ですが文書回答をお願いいたします。

### <要望事項>

- 1 透析患者が新型コロナウイルスに感染した場合、入院治療と維持透析が確実に受けられる病床などの確保を道指導で最低でも道内21医療圏において整備してください。万一、自宅療養等入院治療ができない事態に備え、維持透析を継

続できる体制を地域の透析施設と協力して構築願います。

- 2 透析患者への新型コロナワクチン接種については治療中の透析施設において、年齢や住まいする市町村に関係なく希望者全員並びに介助している家族への接種を進めるよう市町村へのワクチン供給などの支援をお願いします。

このことに関連した事務連絡が、令和3年7月16日に、厚生労働省健康局健康課予防接種室から「精神疾患による入院患者や人工透析患者への新型コロナワクチンの接種体制の確保について」と題して、都道府県、市町村、特別区並びに日本透析医会宛にできています。

- 3 透析施設における新型コロナウイルス感染防止対策の確認と再徹底の指示を各振興局にて実施するようお願いします。

札幌市における透析患者新型コロナ感染原因として院内透析を実施している病院における新型コロナウイルス感染症クラスターにより透析室にて維持透析中の患者感染拡大につながったとしており院内透析病院における感染対策の徹底が重要です。

- 4 新型コロナワクチンのブースター接種（追加免疫を得るために行う3回目の接種/ブースター効果）について、臓器移植やがんの化学療法を受けるなどして免疫を抑制された状態にある人についても実施を検討するよう国に要請してください。

○ブースター接種に関する河野太郎特命担当大臣（コロナワクチン担当）が明らかにしたことについて

- ・新型コロナワクチンの3回目接種（ブースター接種）分の必要量を確保している。2021.8.17

- ・医療従事者へのブースター接種の実施を検討している。2021.8.19

○抗免疫療法を行っている臓器移植患者やがんの化学療法を受けるなどして免疫を抑制された状態にある人は、ワクチン接種後も抗体が産生されない、必要な抗体量が獲得できないことが関係者の努力で明らかになってきました。こうした方もブースター接種によってかなりの確率で必要な抗体量が産生されることも分かってきています。

○アメリカでは臓器移植を受けた方や免疫力の低い方への 3 回目接種がすでに開始されています。18 歳以上の成人を対象にした接種も 9 月 20 日から開始すると発表しています。

**要望書提出の背景** これまでの新型コロナ感染対策に関する道知事及び感染拡大地域首長への要望事項 [(1), (2), (3)], 透析患者の新型コロナ感染状況 (①、②)、臓器移植患者の新型コロナ感染状況 (③)

(1)道腎協では、道内において 2020/1/18 に新型コロナ陽性者が初確認され、2/14 に二人目確認、2/19 以降はほぼ毎日感染者確認が続くのを受け、新型コロナウイルスから透析患者の命を守るべく、「透析施設における感染対策と透析患者が感染した場合の維持透析の確保」等の対策が重要と考え、2020 年 3 月 10 日付けで、道知事に以下の内容の要望書を提出しています。尚、同じ内容の要望書を札幌市長にも提出しました。

- 1 道内約 270 (患者数 1 万 6 千) の透析施設に、新型コロナウイルス感染予防対策を具体的 (参考: 新型コロナウイルス感染症に対する透析施設の対応について/日本透析医会) に示し、対策の徹底を指示してください。
- 2 新型コロナウイルスに透析患者が感染した場合、入院維持透析が続けられる医療機関は準備されていますか。早急に態勢を整備してください。
- 3 透析患者は熱があっても、外来維持透析は中止できず、自宅待機は不可能です。加えて、週 3 回は通院で公共交通機関などを利用します。重症化を防ぐには、発熱などの体調不良の際の PCR 検査を含めて個別の対応が必要と考えます。早期に対応を定めて患者・家族、施設に周知してください。
- 4 可能な限り、透析施設並びに患者にマスクや消毒薬の配布をお願いします。

(2)毎年 10 月に提出している「腎疾患総合対策に関する要望書」において「13 新型コロナウイルス感染症対策について (お願い)」として以下のお願いをしました。

- 1 透析施設における感染対策について確認し、一層の対策を促してください。
  - ・透析患者の 3 大死亡原因のひとつは「感染症」です。新型コロナウイルス感染症においても透析患者の感染と死亡が報告されています。残念なことです。感染対策が不十分な施設の情報が会員や患者から当協議会に寄せられています。
  - ・2018 年の透析患者の死亡者数 33,863 人、感染症は死亡原因の 2 番目で割合は

21.3%。

- ・透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者は、10月2日現在では感染者数268人、死亡者数38人（死亡率14.17%）うち、北海道東北地区では感染者数4人死亡者数0人

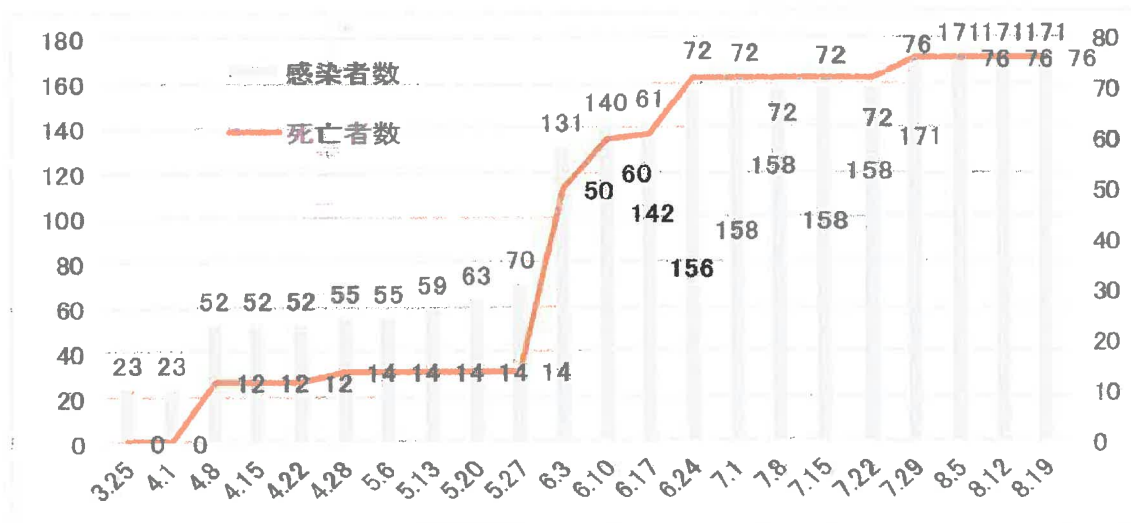
**2 透析患者に関係する新型コロナ感染症（者）の情報を当協議会に提供してください。また透析医療に関わる道庁担当部門と北海道透析医会、道腎協と話し合う場を設けることはできないでしょうか。**

- ・道内においても透析室を併設する病院で新型コロナ感染症クラスターが発生しています。患者から不安の声が当協議会に寄せられますが情報がなく対応に苦慮しています。情報共有を切に望みます。
- ・クラスターが発生した病院（透析室併設）において、当該透析室の透析患者に情報提供が一切なく不安でたまらないとの訴えが当協議会にありました。

(3)道内における透析患者の新型コロナウイルス感染者・死亡者の急増を受けて、地域の透析医療に何が起きているのか透析医会や行政などからの情報は得ることができませんでした。透析患者の新型コロナ感染急増の現状を道知事はじめ、主要市長村長に知って頂き下記事項を進めて頂きたいと要望書を提出しました（5/24付け；12市町の長へ、6/7；道知事、16市町の長へ提出）。加えて、マスコミにお願いし報道して頂きました。

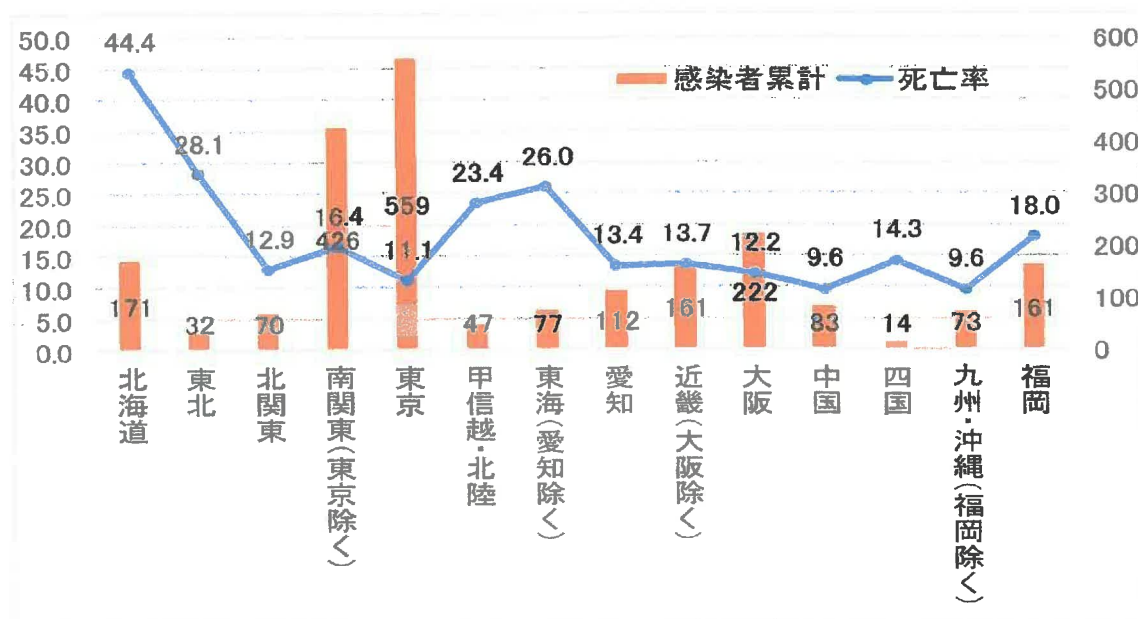
- 1 透析施設（270施設）の医療従事者への新型コロナワクチン接種の推進並びに接種済み施設は、利用している患者に分かるようにしてください。**
- 2 透析施設への新型コロナ感染予防に必要な医療資機材（医療用ガウン、マスク、フェースシールド、手袋など）の支援をお願いします。**
- 3 透析患者への新型コロナワクチン接種については治療中の透析施設において、年齢や住まいする市町村に関係なく希望者全員への一斉接種をお願いします。**
- 4 透析患者が新型コロナウイルスに感染した場合、入院治療が確実に受けられる体制を整えてください。**

①道内透析患者における新型コロナウイルス累積感染者・累計死亡者について



4/1～7/29における感染者148例における118例は、札幌市内の18医療施設の透析患者で、内63人が亡くなっています。死亡率は53.4%と異常な高さです。原因は7医療施設で変異ウイルスクラスターが発生したとしています。

②地区別透析患者のコロナ感染者累計と死亡率（2021年8月12日16時時点）



③移植患者における累積の新型コロナウイルス感染者 2021.8.23 8時 時点  
 累積感染者 206人 累積死亡者 14人 死亡率6.8%  
 臓器別累積感染者 心臓3 肺4 肝臓33 腎臓166 膵臓0 小腸0